

はじめに

長崎県は、多くの島々と複雑な海岸線、九州西方を北上する対馬暖流など、豊かな海洋環境に恵まれており、沿岸から沖合まで多様な漁場が形成され、漁業や養殖業が幅広く営まれています。水産業に携わる多くの方々のご尽力により、本県は生産量・産出額ともに全国第2位を誇る水産県として発展し、流通・加工、運送、造船といった産業とも密接に関わりながら、地域を支えています。

一方で、水産業を取り巻く環境は、海水温の上昇や藻場の減少、漁獲量の変動、来遊する魚種や漁場の変化、大規模な赤潮の発生など、大きく変化しています。担い手不足や従事者の高齢化が進む中、燃油や資材価格の高騰、物流コストの増大といった社会経済情勢も水産業全体に影響しており、克服すべき多くの課題を抱えています。

こうした状況を踏まえ、県内各地域の漁業関係者、市町との意見交換を行い、漁業者や加工業者、大学関係者等で構成する計画検討委員会や県議会でご議論をいただき、新たな「長崎県水産業振興基本計画(令和8年度～令和12年度)」を策定しました。本計画では、「力強く稼ぎ持続的に成長する水産業と漁村の賑わいづくり」を基本理念に掲げ、本県の水産振興施策を推進してまいります。

計画の実践にあたっては、地域ごとに異なる課題にきめ細かに対応していくことが重要です。今後は、漁業者をはじめ市町や関係団体、加工・流通事業者の方々、県民の皆様方と一体となり、本県の水産業が儲かる産業として持続的に成長し、若い方々が希望を持って参入できるよう、地域の特性や実情を踏まえながら、各施策の推進に全力を注いでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました多くの方々に心から感謝申し上げますとともに、今後ともご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月

長崎県知事 平田 研

